

5 多文化共生*と国際交流

基本方針

国際化が進む中で、市民の国際感覚を高めるための人材の育成や実効性ある国際交流の推進を図るとともに、外国人住民も暮らしやすい多文化共生*社会の実現に向けた取組を進めます。

現況・課題

- ★グローバル化の進展とともに、市民が広い視野や国際的な感覚を持って、異文化交流を図るなど、国際理解や国際交流の取組を進める必要があります。
- ★外国人住民は、近年、微増傾向にあることから、外国人住民に対する教育支援の充実や日本語教育の推進をはじめ、地域における適応や防災対策など、外国人住民を含めた市民全体が安心して暮らすことのできる多文化共生*社会の構築が求められています。
- ★具体的な多文化共生*のための施策として、インターネットを通じた多言語による市の紹介や生活情報の提供を行っています。
- ★ベトナム国を相手国としたホストタウン*登録を契機に、東京 2020 オリンピック・パラリンピックのレガシーを後世に引き継いでいく必要があります。



商工まつり出店（ベトナムコーヒー）

目標指標

指標名	現況値		目標値 令和7年度	説明
	年度等	数値		
他地域や世界の人々との交流活動施策に対する満足度	令和元年度	6.7%	10.0%	まちづくり市民アンケート

施策の展開

(1) 国際交流の推進

グローバル社会の中で国際感覚豊かな市民を育成するため、外国人との交流機会の充実や国際理解の促進等による実効性のある国際交流を推進し、国際化に対する意識や相互理解を図りつつ、市民の国際感覚の醸成に努めます。

(2) 多文化共生*の推進

外国人住民を生活者として捉え、多言語による情報提供や日本語の学習支援等のコミュニケーション支援、日常生活の支援等を図りながら、地域社会の一員として外国人住民が安心して暮らしやすい社会の実現に努めます。

(3) ホストタウン*事業を契機とした新たな交流の推進

東京 2020 オリンピック・パラリンピック終了後もスポーツ交流のみに限らず、産業や観光など幅広い視点でこれまでの成果を活かし、市民、民間事業者、行政などが一体となって新たな交流の推進に努めます。

主な事業

- ・ 外国語版観光パンフレットの作成
- ・ 観光情報発信の多言語化
- ・ 外国人文化共有のための研修
- ・ インターネットや多言語アプリ等の活用
- ・ 英語環境向上推進事業
- ・ ホストタウン*事業

関連計画

計画名	計画期間
くだまつ国際化推進ビジョン	平成 16 年度～



ホストタウンイベント